

「父よ。彼らをお救してください。彼らは、何をしているのか自分で分からないのです。」

ルカの福音書 23 章 34 節



「この人には何の罪もみつからない」

ルカの福音書 23 章 4 節

今から約二千年前にイエス様はこの地上にお生まれになりました。その生涯は、完全なものでした。当時の社会において、病はその人の罪からくると考えられていました。ですから盲目の人や足の不自由な人を見ると、人々は蔑んでいたので。しかし、イエス様はそれらの人々の病を癒され、愛を示されました。イエス様はその生涯において、素晴らしい愛を示され、そしてみことばを語り続けられたのです。しかし、その生涯には、困難がいとも付きまといました。当時社会的地位があった、パリサイ人や律法学

者たちに生まれ、命を狙われていたのです。彼らは、あらゆる機会を通し、イエス様を何とかして殺そうとしていました。しかし、どんな時においても、愛を持って対応されたのです。しかし、最後には弟子のユダの裏切りを通して、イエス様を裁判にかけたのです。その裁判の席において人々は、イエス様を死刑にするため多くの訴えをしましたが、何一つ成立するものはありませんでした。しかし、イエス様はそれらの虚偽の証言に対しても反論なさること無く、耐え忍ばれたのです。この裁判の後、総督ピラトに引き渡されました。ピラトはイエス様に対して、無罪であると三度も語っています。

しかし、人々はその時、「十字架だ。十字架につけろ」と叫んだのです。その結果、ピラトは彼らに屈し、死刑の宣告を下しました。イエス様は事実無根の罪で、十字架刑に処せられたのです。十字架に架かられる時も、多くの苦しみをお受けになりました。しかし、いかなるときも忍耐されたのです。死に至っても、人々を憐れまれ、とりなしておられるのです。なぜ、イエス様はこれ程悪意を持ち、危害を加えた人々を愛されたのでしょうか。なぜ、根拠のない罪状での十字架刑をお受けになれたのでしょうか。



人類の罪

イエス様を十字架に架けた人々は、イエス様を妬み、憎んでいました。神様を無視し、憎むことは大きな罪です。そして、その罪は皆様にもありません。現在の社会でも、多くの人が、真の神様を無視し、憎んでいるのです。自分にとって都合の良い神を作り上げ、拝んでいます。人間にとって神とは、願いを叶えてくれる都合の良いものでしか無いのです。また、他にも多くの罪を犯しています。神様はこの人間の罪に対して、大きな怒りを抱いておられます。そして、悲しんでおられるのです。

罪の結果…

「義人はいない。一人もない。」

全ての人間は罪人です。神様の罪に対する怒り、悲しみは大きなものです。それゆえ、人間に死後の裁きを定められました。それが永遠の地獄です。聖書には地獄は硫黄の燃える火の池と書かれています。硫黄は燃えると有毒なガスが発生します。そこに入ると有毒なガスと灼熱の炎の中で、悶え苦しみ続けなくては行けないのです。そして、罪人は皆地獄へと向かっているのです。そして、皆様もまた、地獄へと向かっています。

地獄からの救い

しかし、神様は地獄へと向かっている人間を哀れみ、愛してください。救いの道を用意してください。イエス様の十字架です。イエス様が多くの苦しみ、困難な時を耐え忍ばれ、虚偽の訴えにも忍耐されたのは、人間を地獄から救うためだったのです。イエス様は、人々から罵られ、暴虐の限りを尽くされ、両手両足を釘で打たれ、十字架に架けられました。そして十字架の上でも6時間もの間、苦しまれたのです。そして、死なれたのです。その後、墓に葬られ三日目の朝に復活されました。イエス様は真の神様であられた

からです。まず、皆様の罪を神様の前に認めてください。そして、このイエス様の十字架での死と三日目の復活を事実として信じ、イエス様を真の神様、救い主として信じるなら、皆様の罪は全て赦されます。そして、地獄ではなく神様のおられる天国に行くことが出来ます。イエス様は一人でも多くの人を地獄から救うため、十字架に架けられたのです。多くの苦しみ、困難を耐え忍ばれました。今、この紙面を読んでいる貴方を救うために耐え忍ばれたのです。どうか、このイエス様の素晴らしい愛を受け取ってください。

